令和７年度滋賀県立安土城考古博物館運営懇話会次第

令和８年３月１２日（木）
１４時～１６時
安土城考古博物館 1F 会議室

１　開　会

２　報告事項

（1）滋賀県立安土城考古博物館の指定管理者の指定期間について

(2)前回(令和６年度)運営懇話会における意見とその対応状況について

(3)令和７年度事業の実施状況について

(4)令和８年度事業計画（案）について

３　その他

４　閉会

第 71 回企画展　近江　―　道が織りなす物語　―

滋賀県立安土城考古博物館運営懇話会委員名簿

（任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日）

（順不同・敬称略）

NO	氏　名	所　属　等	備　考
1	末松　史彦	前滋賀県人権センター理事長 前聖泉大学教授	
2	浅田　耕也	近江八幡市 文化振興課長	
3	白嵜　　治	県小学校長会（安土小学校校長）	
4	木下　達文	京都橘大学経営学部教授	
5	國賀由美子	アサヒグループ大山崎山荘美術館顧問 大谷大学・同志社大学・京都女子大学非常勤講師 元大谷大学文学部教授	
6	佐藤　亜聖	滋賀県立大学人間文化学部教授	
7	岩崎奈緒子	京都大学総合博物館教授	
8	勝身真理子	ミユーストリーム代表、元滋賀県理事員(男女共同参画担当)、元滋賀県文化財保護課長	
9	鵜飼　裕紀	岐阜関ケ原古戦場記念館　主査学芸員	
10	西川　邦臣	京都新聞滋賀本社滋賀北部総局長	

滋賀県立安土城考古博物館運営懇話会設置要領

第１条　（目的）

滋賀県立安土城考古博物館（以下「博物館」という。）の運営等に関する基本的事項について意見交換するため、滋賀県立安土城考古博物館運営懇話会（以下「懇話会」という。）を設置する。

第２条　（協議事項）

懇話会は次の事項について協議する。

１　博物館の運営に関する基本的事項に関すること。

２　博物館活動事業の企画・立案に関すること。

３　その他博物館運営に関する必要な事項。

第３条（構成等）

１　懇話会の委員は、１０人以内で次に掲げるうちから博物館長が委嘱する。

（１）学識経験者

（２）その他館長が適当と認める者

２　委員の任期は２年とする。ただし、補欠の委員の任期は前任者の残存期間とする。

第４条（座長）

１　懇話会に座長を置く。

２　座長は委員の互選による。

３　座長は懇話会を代表し、会務を掌理する。

４　座長に事故あるときは、座長の指名により座長代理を置くことができる。

第５条（招集）

懇話会の招集は博物館長が行い、必要に応じて委員以外の者の出席を求めることができる。

第６条（庶務）

懇話会の庶務は博物館において処理する。

第７条（雑則）

その他懇話会の運営に必要な事項は、別に定める。

付則

１　委員の任期は、２年を超えない範囲における年度末をもって終了とする。

２　この要領は、平成５年７月２０日から施行する。

令和７年度

滋賀県立安土城考古博物館運営懇話会資料

目　　次

１．滋賀県立安土城考古博物館の指定管理者の指定期間について……　１

２．入館者状況　……　２

３．前回の運営懇話会における主な意見とその対応状況　……　３

４．令和７年度事業の実施状況　……　４

５．令和８年度事業計画（案）　……　１７

６．博物館アンケート結果　……　２３
　令和７年度秋季特別展「天下人の城　安土城」

７．安土城考古博物館　経費および執行体制の推移　……　２６

次第

座席表

運営懇話会委員名簿

運営懇話会設置要領

令和６年度年報

1.　滋賀県立安土城考古博物館　指定管理者の指定期間（資料）

滋賀県指令文保第 25 号

滋賀県大津市瀬田南大萱町 1732 番地の２
公益財団法人滋賀県文化財保護協会
理事長　江島　宏治

令和７年 10 月２日付けで申請のあった滋賀県立安土城考古博物館の指定管理者については、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の２第３項の規定により、下記のとおり指定する。

令和７年 12 月 25 日

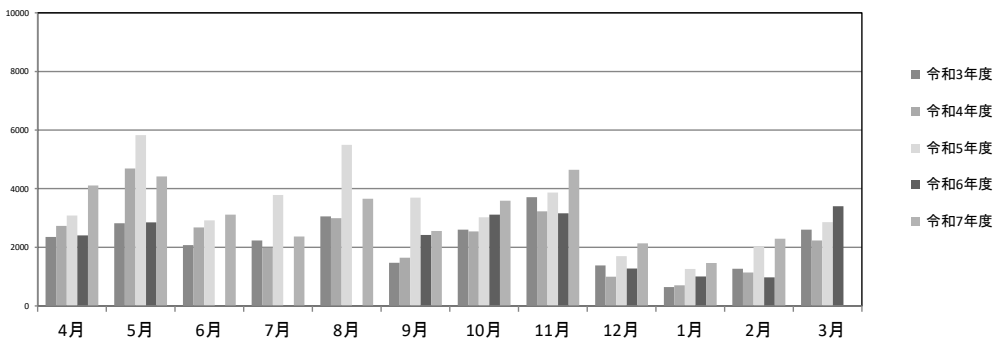
滋賀県知事　三日月　大造

記

１　施設の名称　滋賀県立安土城考古博物館
２　指定管理者　滋賀県大津市瀬田南大萱町 1732 番地の２
　　公益財団法人滋賀県文化財保護協会
　　理事長　江島　宏治
３　指定の期間　令和８年４月１日から令和９年３月 31 日まで
４　指定の条件等
　　別途締結する協定書によるものとする。

2.滋賀県立安土城考古博物館入館者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
平成4年度								28, 271	5, 128	4, 066	4, 204	6, 000	47, 669
平成5年度	9, 771	12, 560	7, 260	5, 755	8, 356	5, 834	9, 130	9, 425	1, 789	1, 236	2, 307	4, 495	77, 918
平成6年度	6, 157	12, 338	10, 118	7, 137	9, 444	6, 769	11, 118	10, 925	1, 657	1, 488	2, 615	4, 730	84, 496
平成7年度	7, 322	12, 939	7, 115	5, 384	7, 684	4, 928	11, 715	7, 982	1, 420	1, 654	2, 517	4, 985	75, 645
平成8年度	5, 349	9, 305	6, 305	4, 336	7, 395	5, 794	9, 319	6, 807	1, 939	3, 377	1, 556	2, 995	64, 477
平成9年度	4, 081	4, 531	4, 867	3, 162	4, 923	4, 331	6, 921	5, 203	1, 013	803	1, 786	2, 331	43, 952
平成10年度	4, 908	6, 938	3, 301	3, 805	7, 053	3, 884	6, 252	5, 742	1, 326	1, 497	1, 645	3, 490	49, 841
平成11年度	5, 370	7, 591	4, 068	4, 356	6, 656	3, 886	7, 567	6, 668	1, 619	1, 468	1, 858	3, 070	54, 177
平成12年度	5, 700	6, 139	4, 066	2, 910	5, 270	4, 167	6, 445	5, 148	1, 521	1, 033	1, 934	2, 812	47, 145
平成13年度	4, 287	7, 181	4, 461	3, 230	7, 608	5, 675	4, 946	5, 919	1, 652	1, 756	2, 363	3, 904	52, 982
平成14年度	5, 269	8, 601	5, 343	4, 153	8, 451	6, 053	7, 284	6, 292	1, 471	1, 606	1, 627	2, 869	59, 019
平成15年度	3, 857	5, 464	4, 300	3, 800	6, 564	4, 017	5, 880	6, 072	1, 401	1, 566	1, 909	3, 130	47, 960
平成16年度	4, 006	6, 195	5, 184	3, 619	7, 007	4, 228	5, 338	4, 575	1, 612	1, 554	1, 979	3, 239	48, 536
平成17年度	3, 933	5, 127	2, 606	3, 827	6, 045	3, 742	6, 018	4, 849	1, 101	1, 304	1, 892	3, 478	43, 922
平成18年度	4, 861	7, 782	5, 144	5, 010	7, 442	4, 065	6, 232	6, 352	1, 434	1, 906	3, 430	4, 449	58, 107
平成19年度	5, 038	5, 501	3, 895	3, 570	7, 042	4, 505	4, 912	5, 351	1, 605	2, 083	2, 672	4, 826	51, 000
平成20年度	3, 808	4, 546	3, 481	2, 923	5, 745	3, 413	4, 693	5, 777	1, 433	1, 391	2, 363	3, 857	43, 430
平成21年度	3, 794	6, 337	4, 052	3, 265	6, 539	11, 766	8, 014	6, 513	2, 120	2, 307	2, 196	4, 239	61, 142
平成22年度	4, 226	7, 010	4, 943	4, 088	7, 171	4, 621	4, 864	5, 020	1, 824	2, 157	4, 411	5, 549	55, 884
平成23年度	6, 024	8, 525	5, 704	5, 547	9, 947	5, 407	6, 199	5, 699	2, 426	1, 734	1, 516	3, 117	61, 845
平成24年度	4, 311	5, 579	3, 507	4, 086	7, 779	3, 647	4, 942	5, 032	1, 610	1, 805	1, 992	4, 439	48, 729
平成25年度	4, 654	6, 062	3, 682	3, 141	6, 293	3, 609	4, 313	4, 573	1, 666	1, 299	1, 813	3, 238	44, 343
平成26年度	4, 255	6, 324	3, 501	3, 491	6, 960	3, 060	3, 888	4, 295	1, 279	1, 014	1, 733	2, 790	42, 590
平成27年度	4, 014	6, 131	2, 694	3, 724	4, 978	4, 504	3, 688	4, 130	1, 609	2, 383	2, 282	4, 547	44, 684
平成28年度	4, 853	7, 975	3, 594	3, 176	5, 827	3, 329	3, 793	3, 853	1, 654	1, 049	991	3, 616	43, 710
平成29年度	3, 785	6, 244	3, 518	3, 108	5, 666	2, 814	3, 111	3, 713	1, 680	1, 004	980	3, 347	38, 970
平成30年度	3, 461	4, 874	3, 135	2, 301	4, 501	2, 819	2, 845	3, 220	1, 276	1, 005	1, 432	2, 969	33, 838
令和元年度	4, 346	6, 878	3, 041	2, 853	4, 910	3, 468	4, 388	4, 702	1, 804	1, 840	2, 103	638	40, 971
令和2年度	445	672	1, 886	2, 714	3, 411	3, 248	5, 082	6, 061	1, 509	899	2, 891	3, 681	32, 499
令和3年度	2, 355	2, 818	2, 076	2, 230	3, 058	1, 472	2, 603	3, 710	1, 380	643	1, 271	2, 601	26, 217
令和4年度	2, 732	4, 690	2, 677	1, 985	2, 991	1, 643	2, 539	3, 229	996	705	1, 140	2, 236	27, 563
令和5年度	3, 086	5, 826	2, 918	3, 785	5, 497	3, 694	3, 025	3, 871	1, 697	1, 259	2, 023	2, 861	39, 542
令和6年度	2, 409	2, 852	0	0	0	2, 418	3, 113	3, 160	1, 277	1, 006	978	3, 398	20, 611
令和7年度	4, 110	4, 420	3, 118	2, 370	3, 658	2, 556	3, 586	4, 646	2, 134	1, 466	2, 294		34, 358
累計	**146, 577**	**215, 955**	**135, 560**	**118, 841**	**201, 871**	**139, 366**	**183, 763**	**206, 785**	**57, 062**	**53, 363**	**70, 703**	**117, 926**	**1, 647, 772**
平　均 (H5～)	4, 441	6, 544	4, 107	3, 601	6, 117	4, 223	5, 568	6, 081	1, 678	1, 569	2, 079	3, 468	



3. 前回の運営懇話会（令和6年3月14日開催）の意見への対応状況

NO	主な意見	発言者	対応状況
1	◇博物館の役割と学芸員の業務 ①問い合わせの対応等、学芸員の活動などバックヤードの報告について、前年度の実績だけでなく、今年度12月時点の状況も報告願いたい。また、博物館活動の基盤は調査研究であり、紀要、調査、講座および年報の内容をリスト化し報告願いたい。	岩崎委員	①講座、イベント、資料の貸出および刊行物等については、これまでから年報で報告してきたが、御意見を踏まえ、令和7年度の状況も事業報告に記載した。なお、問い合せ対応についても、令和7年度から記録化しているところ。
	②収蔵品の保存、修理の状況など、学芸員の地道な活動を事業報告書に記載し、目に見える形で報告願いたい。	岩崎委員	② 収蔵品の保存・修理については、これまでから、年報や紀要で報告してきたが、令和7年度から事業報告にも記載した。引き続き、学芸員のバックヤード活動も見える形で報告したい。
	③土日の講座等の開催回数が多く、学芸員の負担になっている。参加者が少ない催しもあるので、開催回数を少なくすれば参加者が多くなると思うがどうか。	國賀委員	③御意見を踏まえ、令和8年度から講座の開催回数を半数の10回程度とした。一方、令和8年度は、安土城築城450年を迎え、城郭トレイルの開催は増やしている。なお、これまでの実績から開催回数と参加者数に相関関係はないように思われる。いずれにしろ、指定管理者であり、県が示す方針に沿った計画にならざるを得ないところ。
2	◇博物館のPR ①県内来館者が少ない。裾野を広げるため、一般の人が集まる市町の図書館等と連携し、子どもや親子連れにもわかってもらえるやさしいイベント、出前講座の開催や子どもが感想を発表できる機会を作ってはどうか。	勝身委員	① 県主催「こほくキッズミュージアム」への参加や県内親子づれの来館者が多い岐阜関ケ原古戦場記念館で2回ワークショップを開催した。併せて、近江八幡ふるさと観光塾など、地元主催のイベントにも参画したところ。裾野を広げるため、市町教育委員会とも連携を図って参りたい。
	②学校活動で火起こし体験や博物館の見学は貴重な体験。調べたことを発表するなど子供が活躍できる企画や学校からの来館を増やすため、月一回開催される市内の校長会でPRしてはどうか。	白嵜委員	②4月に近江八幡市校長会で説明するとともに、2月には近江八幡市の小学校・中学校初任者研修の会場として当館を御利用いただいた。また、体験学習に特化したチラシを県内小中学校あてに送付したところ。
3	◇今後に向けた取組み ①シアターの15分間の映像では飽きられる。次のリニューアルをどうするのか、周辺の魅力に繋げるための仕掛けなど、広い視点で考える必要がある。	木下委員	①シアターコンテンツの定期的な更新と次のリニューアルについては、再三にわたり、県に要望しているところ。また、指定管理制度の枠内で、シアターを活用した企画も検討したいと考えている。併せて、戦国・豊臣観光キャンペーンやシガリズム・ディスティネーションキャンペーンなど、周辺の魅力に繋げるための取り組みにも参画する予定。
	②アンケート結果について、肯定的な意見、否定的な意見および要望を整理し、課題では、解決可能な意見とそうでない意見を区分し、次年度に活かしてほしい。	木下委員	②アンケートの意見等について、別紙のとおり、肯定的な意見、否定的な意見および要望等に区分し、対応が可能な事項については、対応等の欄に記載したところ。
	③可能であれば、仕事量を算出し、その配分、人員配置について、他の施設や設置当初と比較し、しわ寄せがあることを示す資料を作成されたい。	木下委員	③当館の設置当初からの経費および執行体制を比較した資料を作成したところ。なお、仕事量の算出や他施設との比較は基準がないため、難しい。

滋賀県立安土城考古博物館　令和７年度事業実施状況

１　展示事業

（１）特別展

①春季特別展

安土城築城 450 年・発掘調査 85 周年記念「安土城・2025―信長の夢のあと―」

展覧会期：令和 7 年 4 月 26 日（土）～令和 7 年 6 月 15 日（日）　45 日間

会　　場：企画展示室

内　　容：織田信長が築城した安土城は、本能寺の変の後、落城し、天主は焼失し、その後廃城となります。これまでは、築城から落城までの安土城にスポットが当てられてきましたが、本展では、廃城後の安土城の変遷、また昭和、平成、令和の発掘調査の成果を紹介しました。

入館者数：5,584 人

関連行事：講座『廃城以降から考える安土城の歴史と調査』（全 3 回）

5 月 10 日（土）「廃城後の安土城」　受講者 99 人
講師：佐藤佑樹（当館学芸員）

5 月 24 日（土）「安土城　平成の調査」　受講者 45 人
講師：岩橋隆浩氏（滋賀県文化財保護課）

5 月 31 日（土）「安土城　令和の調査」　受講者 63 人
講師：松田篤氏（滋賀県文化財保護課）

②秋季特別展

令和 7 年度秋季特別展　安土城築城 450 年記念「天下人の城　安土城」

展覧会期：令和 7 年 10 月 11 日（土）～令和 7 年 11 月 16 日（日）　32 日間

会　　場：企画展示室

内　　容：信長が天下人の立場で建てた安土城は、築城後 10 年を待たずに焼失してしまったため、いまだにその具体的姿は解明できていません。残されたわずかな資料を集め、築城の歴史的背景を考えるとともに、建築に関わったとされる諸職人の手による作品などから、在りし日の姿を推測する手がかりを探りました。

入館者数：4,515 人

関連行事：記念対談『天下人の城　安土城』　受講者 50 人

10 月 18 日（土）
講師：藤田達生氏（三重大学特任教授）
稲葉継陽氏（熊本大学永青文庫研究センター長）

講座（全 2 回）

11 月 1 日（土）「安土城の復元を考える 2025」　受講者 61 人

講師：木戸雅寿氏（滋賀県文化財保護課参事員）
11 月 9 日（日）「瓦研究から見た安土城」　受講者 26 人
講師：佐藤佑樹（当館）

（２）企画展

①第 70 回企画展「紫香楽と信楽―宮の造営と焼き物の歴史―」

展覧会期：令和 7 年 7 月 19 日（土）～令和 7 年 9 月 23 日（火・祝）59 日間
会　　場：企画展示室
内　　容：信楽では、聖武天皇によって大仏が造られ始め、信楽の宮が営まれます。その後、鎌倉時代には日本六古窯のひとつである信楽焼が始まります。本展では、紫香楽宮の全体像と信楽焼の成立と発展をテーマに、古墳時代から安土・桃山時代までの歴史をたどりました。
入館者数：6,901 人
関連行事：シンポジウム　8 月 9 日（土）　受講者 94 人
『なぜ紫香楽で大仏を造り始め頓挫したのか―聖武天皇と紫香楽宮』
講師：神野恵氏（奈良文化財研究所）
小谷徳彦氏（甲賀市教育委員会）
細川修平氏（滋賀県文化財保護課）
大道和人（当館）
講座　8 月 30 日（土）「甲賀の焼き物の歴史」　受講者 13 人
講師：伊藤航貴氏（甲賀市教育委員会）
ワークショップ「土器にふれて！作って！焼こう！」
8 月 10 日（日）「土器作り」ワークショップ　参加者 14 人
9 月 13 日（土）「野焼き」ワークショップ　参加者 9 人

②第 71 回企画展「近江　道が織りなす物語」

展覧会期：令和 8 年 2 月 14 日（土）～令和 8 年 4 月 5 日（日）　44 日間
会　　場：企画展示室
内　　容：古代から畿内と他地域を結ぶ交通の要衝であった近江国について、その特色や重要性を考古資料や絵画、古文書を通じて紹介しています。
関連行事：講座（全 5 回）
第 1 回　2 月 22 日（日）「近江は道の国」　受講者 44 人
講師：瓜生翠（当館）
第 2 回　3 月 8 日（日）「「近江」を通る鳥たち」　受講者　人
講師：佐藤華音氏（県立琵琶湖博物館）
第 3 回　3 月 15 日（日）「滋賀県ゆかりの画家 山元春挙」　予定
講師：山口真由香氏（県立美術館

第 4 回　3 月 22 日（日）「近江の陶窯をめぐるよもやま話」　予定
講師：鈎真一氏（県立陶芸の森）
第 5 回　3 月 29 日（日）「発掘された古代の道」　予定
講師：辻川哲朗（当協会）

（３）特別陳列（①：第 2 常設展示室、②・③・⑤：望楼ホール、④：企画展示室）

①「明智光秀と近江」（県立琵琶湖文化館との連携企画）

展覧会期：令和 7 年 6 月 3 日（火）～令和 7 年 8 月 3 日（日）
内　　容：再発見の書状をはじめ、当館と琵琶湖文化館が収蔵する光秀関係資料を展示紹介しました。
関連講座：6 月 14 日（土）「中世都市坂本と明智光秀の築城」　受講者 94 人
講師：福島克彦氏（大山崎町歴史資料館館長）

②「城郭出土の笏谷石」

展覧会期：令和 7 年 6 月 17 日（火）～令和 7 年 7 月 19 日（土）
内　　容：安土城跡や小谷城跡など、県内の城郭で出土した越前の笏谷石製品を展示紹介しました。

③「信楽焼と民藝―柳宗悦に見出された信楽の美―」（県立陶芸の森との連携企画）

展覧会期：令和 7 年 9 月 2 日（火）～令和 7 年 9 月 28 日（日）
内　　容：柳宗悦の著書『手仕事の日本』に綴られた言葉を道標に、彼が見出した信楽焼製品を展示紹介しました。
関連講座：9 月 7 日（日）「アートからみた考古遺物の魅力」　受講者 10 人
講師：松井利夫氏（県立陶芸の森館長）

④「滋賀の縄文・弥生・古墳時代」

展覧会期：令和 7 年 11 月 29 日（土）～令和 8 年 2 月 1 日（日）
内　　容：リニューアル前に第 1 常設展示室で展示していました、大岩山銅鐸 5 点（重要文化財）や県所蔵品、古墳時時代の王（復元模型）など、旧石器時代から古墳時代の県内出土の考古資料を展示紹介しました。
関連講座：連続講座Ⅱ「滋賀の縄文・弥生・古墳時代」（全 3 回）

⑤「学芸員の自由研究　まぼろしの陶窯－比良焼・杣山焼・臨湖焼」（県立陶芸の森との連携企画）

展覧会期：令和 8 年 2 月 14 日(土)～令和 8 年 4 月 5 日(日)
内　　容：高島市妙見山茶碗窯出土品と陶芸の森所蔵品の比較分析を滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場の協力で試み、その成果を紹介しています。

（４）でかける博物館（大阪府立近つ飛鳥博物館との連携企画）

①でかける博物館ｉｎ滋賀県立安土城考古博物館「寛弘寺古墳群が映す古墳時代」

展覧会期：令和７年 12 月６日（土）～令和８年２月１日（日）

会　　場：当館企画展示室

内　　容：大阪府立地近つ飛鳥博物館所蔵の寛弘寺古墳群出土の銅鏡、馬具、土器、埴輪などの資料を展示紹介していただきました。

実 施 館：大阪府立近つ飛鳥博物館

②でかける博物館ｉｎ大阪府立近つ飛鳥博物館「古墳の終焉－横尾山古墳群－」

展覧会期：令和８年１月 24 日（土）～令和８年２月 23 日（月・祝）

会　　場：大阪府立近つ飛鳥博物館１階ロビー

内　　容：当館と滋賀県が所蔵する横尾山古墳群出土の土器、金属器、鉄滓などの資料を展示紹介しました。

実 施 館：当館

２　講座事業

（１）連続講座Ⅰ「近江の城　調査・研究の最前線」（全４回）

発掘調査に携わる専門職員に、最新の調査・研究成果をもとに近江の城郭について、最新の調査や研究について解説していただきました。

第１回　６月　７日（土）「坂本城跡調査の最新成果」　受講者 70 人
講師：岡田有矢氏（大津市市民部文化財保護課）

第２回　６月 21 日（土）「中世近江の採石と城」　受講者 42 人
講師：渡邊貴洋氏（野洲市教育委員会文化財保護課）

第３回　７月　５日（土）「発掘調査成果からみた境目の城」　受講者 52 人
講師：石田雄士氏（米原市教育委員会生涯学習課）

第４回　７月 19 日（土）「近江の城と笏谷石」　受講者 52 人
講師：古山明日香氏（長浜市文化財保護室）

（２）連続講座Ⅱ「滋賀の縄文・弥生・古墳時代」（全３回）

発掘調査に携わる専門職員に、最新の調査・研究成果をもとに滋賀の縄文・弥生・古墳時代を解説していただきました。

第１回　11 月 29 日（土）「滋賀の縄文時代　湖底遺跡と滋賀里遺跡・穴太遺跡」
講師：中村健二（当協会）　受講者 32 人

第２回　12 月　６日（土）「滋賀の弥生時代―大岩山銅鐸と伊勢遺跡―」
講師：進藤武氏（野洲市歴史民俗博物館）
受講者 26 人

第３回　12 月 13 日（土）「滋賀の古墳時代―新開１号墳とその周辺―」
講師：宮村誠二（当協会）　受講者 19 人

（３）連続講座Ⅲ「豊臣秀長と近江」（全３回）

令和８年度に放映されるＮＨＫ大河ドラマ「豊臣兄弟！」や滋賀県観キャンペーン「戦国ディスカバリー 滋賀・びわ湖」に関連した企画で、県内では豊臣氏研究の第一人者である淡海歴史文化研究所所長の太田浩司氏に、豊臣秀長やその家臣について解説していただきました。

第１回　12 月 14 日（日）「豊臣秀長の生涯～秀吉の補佐役か～」　受講者 78 人
第２回　 1 月 12 日（月・祝）「秀長家臣・藤堂高虎の生涯～築城家の真相～」
受講者 113 人
第３回　 2 月 14 日（土）「秀長家臣・小堀正次の生涯～遠州の父の姿～」
受講者82 人

３　史跡・城郭探訪、体験学習・ワークショップ等

（１）史跡・城郭探訪

近江風土記の丘の史跡を活用して、特別史跡安土城跡や史跡観音寺城跡と桑實寺を学芸員が案内するとともに、見どころや歴史的背景を解説しました。

・城郭探訪「観音寺城跡と桑實寺」①　 4 月 27 日（日）　参加者 12 人
・城郭探訪「安土城跡」①　 5 月 11 日（日）　参加者 26 人
・城郭探訪「安土城跡」②　 11 月 2 日（日）　参加者 23 人
・城郭探訪「観音寺城跡と桑實寺」②　11 月 23 日（日）　参加者 14 人

（２）体験学習・ワークショップ

・親子体験博物館「勾玉を作ろう」　 8 月 24 日（日）　参加者 14 組
・ワークショップ「勾玉を作ろう」　10 月 11 日（土）・12 日（日）
当協会開催の「あの遺跡は今」と同時開催しました。　参加者 47 組

４　広報、連携事業

（１）京都新聞との共同開催

第 70 回および第 71 回企画展を共同開催し､広報を強化し誘客を図りました。

（２）滋賀県・岐阜県・福井県３県（３館）連携事業

① 岐阜県「大関ヶ原祭り 2025」での広報

滋賀県・岐阜県・福井県による３県連携の取組のひとつで、10 月 11 日（土）・12 日（日）に開催された「大関ケ原祭り 2025」（主催：岐阜県、累計入場者数約 7 万人）にブース出展し、当館ＰＲのために広報物を配布（1,500 部）し、誘客を図りました。

② 岐阜関ケ原古戦場記念館での広報

当館、岐阜関ケ原古戦場記念館、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館による連携事業として実施し、誘客を図りました。

・３館連携展示　期間：9 月 20 日（土）～11 月 24 日（月・休）
エントランスホールにおいて、安土城出土瓦復元品の展示、ポスター掲示、チラシ配架、ＰＲ動画の放映を行い、誘客を図りました。
・３館連携講演会
9 月 28 日（日）「その後の安土城」講師：佐藤佑樹　受講者 53 人
10 月 25 日（土）「本能寺の変」講師：髙木叙子　受講者 80 人
・3 館連携ワークショップ
10 月 26 日（日）「勾玉を作ろう」　講師：藤﨑髙志　参加者 30 組

③「山城に行こう！2025」での広報

11 月 15 日（土）・16 日（日）に岐阜県可児市で開催された「山城に行こう！2025」（主催：可児市・可児市山城連絡協議会、累計入場者数約 6,500 人）にブース出展し、当館ＰＲのために広報物を配布（500 部）し、誘客を図りました。

（３）「こほくキッズミュージアム」（主催：滋賀県）でのワークショップ開催

10 月 11 日（土）に県立文化産業交流会館で開催された「こほくキッズミュージアム」に参加し、「勾玉作り」体験を実施しました。　参加者 102 組

（４）美の魅力発信 5 館ネットワーク事業（文化芸術振興課 美の魅力発信推進室）

10 月 13 日（月・祝）に、美術館・琵琶湖文化館・琵琶湖博物館・陶芸の森・当館の学芸員が、当館および安土城跡において交流会を実施しました。 参加者 13 人

（５）滋賀県観光キャンペーン「戦国ディスカバリー 滋賀・びわ湖」

① オープニングイベント（来場者約 6,000 人）
② 出張！お城ＥＸＰＯ in 滋賀・びわ湖 2025（来場者約 2,000 人）

11 月 8 日（土）に安土町文芸の郷で開催された両イベントにブース出展し、当館ＰＲのために広報物を配布し、誘客を図りました。

（６）第 41 回「あづち信長まつり」

11 月 9 日（日）に安土町文芸の郷で開催された「あづち信長まつり」（主催：あづち信長まつり協議会）において、スタンプラリー「集めてつながる、信長の物語」に協力し、誘客を図りました。

（７）スタンプラリーへの協力

①「安土築城 450 年記念　安土の観光スポットを巡るスタンプラリー」
主催：近江八幡観光物産協会
期間：11 月 8 日（土）～令和 8 年秋

②「世界で一つのオリジナル　御城印スタンプラリー」
主催：甲賀市観光まちづくり協会
期間：11 月 8 日（土）～令和 8 年 3 月 31 日（火）

③「東おうみ周遊スタンプラリー」
主催：東近江観光振興協議会
期間：11 月 8 日（土）～令和 8 年 3 月 6 日（金）
広報ポスターの掲示、広報チラシを配架し、台紙・スタンプ台を設置して、誘客を図るとともに、周辺施設への周遊に協力しました。（① ② ③）

④「戦国 名城万華鏡デジタルスタンプラリー」（広報協力）
主催：滋賀県、びわこビジターズビューロー
期間：11 月 8 日（土）～令和 8 年 3 月 8 日（日）

⑤「シガパークめぐり　デジタルスタンプラリー」（広報協力）
主催：滋賀県土木交通部 都市計画課 公園魅力向上推進室
期間：11 月 14 日（金）～令和 8 年 2 月 28 日（土）

５　博学連携事業

（１）博物館実習生の受け入れ

① 実施日：8 月 19 日（火）～8 月 24 日（日）　6 日間
実習生：7 人（滋賀県立大学 3 名、京都橘大学 1 名、京都美術工芸大学 1 名、追手門学院大学 1 名、明治大学 1 名）

② 実施日：1 月 8 日（木）
実習生：47 人（滋賀県立大学）

（２）学校支援活動

学校の来館学習における体験学習メニュー（火起こし、勾玉作り、土器に触れよう）を実施したほか、学習相談への対応、職場体験の受け入れを行いました。また、近江八幡市小学校校長会（4 月 30 日（水））で当館の取組を PR した他、県子ども若者部主催のしがこども体験活動指導者研修会（5 月 28 日（水））に参加し、県教育委員会主催のまなびのメニューフェア（7 月 25 日（金））においても当館の取組を紹介しました。

	日　時	学校名	人数	引率	内　容
1	4月19日(土)	中京大学	84　人	3　人	展示解説
2	4月26日(月)	京都橘大学	23　人	2　人	展示解説
3	5月10日(土)	京都橘大学	19　人	2　人	展示解説
4	5月17日(土)	京都橘大学	20　人	1　人	展示解説

5	6月10日(火)	滋賀県立大学	14　人	2　人	展示解説
6	6月17日(火)	南笠東小学校６年生	58　人	5　人	展示解説、土器に触れよう
7	6月27日(金)	龍谷大学	8　人	1　人	取材
8	7月 3日(木)	豊郷小学校６年生	41　人	4　人	土器に触れよう
9	7月20日(日)	富山市立堀川南小学校教師	1　人	―	学習相談
10	8月 2日(土)	彦根市柳町子供会	9　人	8　人	火起こし
11	8月16日(土)	千葉県秀英中学校３年生	1　人	1　人	学習相談
12	8月20日(水)	安土児童クラブ	44　人	5　人	勾玉作り
13	8月21日(木)	安土児童クラブ	33　人	5　人	勾玉作り
14	10月19日(日)	立命館大学	30　人	―	展示解説
15	10月21日(火)	桐原東小学校６年生	71　人	5	土器に触れよう、勾玉作り
16	10月28日(火)	安曇川中学校２年生	3　人	2　人	職場体験
17	10月28日(火) ～30日(木)	能登川中学校２年生	4　人	―	職場体験
18	11月 1日(土)	守山高校２年生	1　人	1　人	学習相談
19	11月 6日(木)	甲南第３中学校	3　人	2　人	土器に触れよう
20	11月 7日(金)	彦根総合高校	11　人	2　人	火起こし、勾玉作り、安土城案内
21	12月16日(火)	北野小学校６年生	103　人	6　人	土器に触れよう、勾玉作り
22	1月20日(火)	中主小学校６年生	33　人	3　人	土器に触れよう
23	1月23日(火)	中主小学校６年生	32　人	3　人	土器に触れよう
24	1月23日(金)	守山中学校１年生	4　人	―	学習相談
25	1月27日(火)	中主小学校６年生	36　人	3　人	土器に触れよう
合計			686　人	66　人	

※展示解説等の対応をした学校のみを記載しています。

６　その他事業

（１）各種団体対応

	開催日	団体名	人数	内　容
1	4月 4日(金)	クラブツーリズム	22　人	展示見学・解説、安土城案内
2	4月11日(金)	クラブツーリズム	22　人	展示見学・解説、安土城案内
3	5月 9日(金)	出城コミュニティーセンター	40　人	展示見学・解説
4	5月18日(日)	安土・八幡物語ツアー	14　人	展示見学・解説
5	6月13日(金)	今堀老人クラブ	17　人	展示見学・解説
6	6月13日(金)	楽遊会	17　人	展示見学・解説、講座
7	7月 2日(水)	長岡市埋蔵文化財センター	15　人	展示見学・解説
8	7月 6日(日)	クラブツーリズム	23　人	展示見学・解説、安土城案内
9	7月 9日(水)	特別史跡安土城跡整備検討会議	14　人	展示見学、セミナールーム利用

10	7月 9日(水)	警視庁、滋賀県警本部	21 人	視察
11	7月24日(木)	奨学塾 優	24 人	展示見学・解説、勾玉作り
12	9月26日(金)	南笠東学区人権教育推進協議会	20 人	展示見学・解説
13	9月30日(火)	スポーツホスピタリティプログラム in 滋賀	36 人	展示見学・解説、安土城案内
14	10月 9日(木)	愛知県篠岡地区ボランティア連絡会	28 人	展示見学・解説
15	11月 6日(木)	甲南地域史研究会	19 人	展示見学・解説、安土城案内
16	11月13日(木)	滋賀県シルバー人材センター連合会	17 人	展示見学・解説
17	11月14日(金)	滋賀県人事委員会事務局	6 人	展示見学・解説、会議室利用
18	11月18日(火)	近江八幡市視覚障がい者協会	16 人	展示見学・解説
19	11月20日(木)	近畿府県監査委員協議会	20 人	展示見学・解説、会議室利用
20	11月28日(金)	クラブツーリズム	21 人	展示見学・解説、安土城案内
21	12月 3日(水)	伊丹市文化財保存協会	11 人	展示見学・解説
22	12月 4日(木)	明治大学博物館友の会	25 人	展示見学・解説
23	12月 5日(金)	滋賀県シルバー人材センター連合会	18 人	展示見学・解説
24	12月16日(火)	大阪高齢者大学校	31 人	展示見学・解説
25	12月18日(木)	守山市玉津会館	11 人	展示見学・解説、講座
26	12月20日(土)	レイカディア大学	19 人	展示見学・解説、講座
27	2月 5日(木)	近江八幡市教育研究所	27 人	展示見学、セミナールーム利用
28	2月14日(土)	近江八幡市観光ボランティアガイド協会	34 人	展示見学・解説
29	2月14日(土)	近江八幡ふるさと観光塾	24 人	展示見学・解説、講座
30	3月14日(土)	安土城築城 450 年協議会	予 定	展示見学・解説、安土城案内
31	3月15日(日)	安土城築城 450 年協議会	予 定	展示見学・解説、安土城案内
		合計	612 人	

※展示解説等の対応をした団体のみを記載しています。

（２）外部講座への出講

	開催日	講座名（主催者）	演題等
1	4月 3日(木) ～5日(土)	「滋賀県の 100 名城をすべてめぐる 小谷城・彦根城・安土城・観音寺城」 (クラブツーリズム)	同行解説
2	4月 9日(水) ～11日(金)	「滋賀県の 100 名城をすべてめぐる 小谷城・彦根城・安土城・観音寺城」 (クラブツーリズム)	同行解説
3	7月 5日(土) ～7日(金)	「滋賀県の 100 名城をすべてめぐる 小谷城・彦根城・安土城・観音寺城」 (クラブツーリズム)	同行解説
4	7月30日(水)	花湖さんの打出のコヅチ（滋賀県文化スポーツ部文化財保護課・滋賀県立琵琶湖文化館）	「明智光秀とはどういう人物だったのか」 ギャラリートーク
5	8月 7日(木)	滋賀リビングカルチャー倶楽部「近江史跡紀行―その時代と背景―」（滋賀リビング新聞社）	「発掘された古代の工業地帯－史跡瀬田丘陵生産遺跡群－」

6	8月21日(木)	滋賀リビングカルチャー倶楽部「近江史跡紀行―その時代と背景―」（滋賀リビング新聞社）	「発掘された古代の工業地帯」
7	9月28日(月)	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館・滋賀県立安土城考古博物館・岐阜関ケ原古戦場記念館連携講演会（岐阜関ケ原古戦場記念館）	「その後の安土城　本能寺の変から現在まで」
8	10月11日(土)	こほくキッズミュージアム（滋賀県文化芸術振興課）	ワークショップ「勾玉作り体験」
9	10月16日(水)	郷土史クラブ「安土城跡探訪」（退職教職員互助会近江八幡・蒲生支部）	同行解説
10	10月19日(日)	「幻の安土城」復元プロジェクト・歴史セミナー（滋賀県）	シンポジウム「天下人織田信長と安土城」
11	10月25日(土)	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館・滋賀県立安土城考古博物館・岐阜関ケ原古戦場記念館連携講演会（岐阜関ケ原古戦場記念館）	「本能寺の変―事件の背景と黒幕諸説を考える―」
12	10月26日(日)	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館・滋賀県立安土城考古博物館・岐阜関ケ原古戦場記念館連携ワークショップ（岐阜関ケ原古戦場記念館）	ワークショップ「勾玉作り体験」
13	11月 6日(木)	歴史探訪の旅「安土城趾・安土城考古博物館と六角氏ゆかりの地を訪ねて」（甲南地域史研究会）	「安土城跡」同行解説
14	11月20日(木)	膳所歴史サークル令和７年 11 月講話（膳所歴史サークル）	「発掘調査からみる近江の鉄生産の歴史」
15	11月22日(土)	第 544 回市民大学講座（帝塚山大学）	「朝鮮半島から伝わった中世の一切経」
16	11月27日(木) ～29日(土)	「滋賀県の 100 名城をすべてめぐる小谷城・彦根城・安土城・観音寺城」（クラブツーリズム）	同行解説
17	12月 4日(木)	滋賀リビングカルチャー倶楽部「近江史跡紀行―その時代と背景―」（滋賀リビング新聞社）	「中世近江の村むら」
18	12月18日(木)	守山市立玉津会館学芸員講座（守山市立玉津会館）	「織田信長と守山について」
19	12月19日(金)	文化財連続講座 2025（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）	「瓦からみた近江の城郭」
20	12月20日(日)	レイカディア大学「古墳めぐり講座」（レイカディア大学）	「滋賀県の古墳について－安土瓢箪山古墳と雪野山古墳を中心に－」
21	1月10日(土)	「権力と水運科研」滋賀研究集会「中世近江の湖上水運と権力」（科学研究費(基盤研究(B)）「戦国時代における地域権力と港町・水運の総合的研究」研究代表：仁木宏）	報告「関津遺跡にみる港湾施設の変遷」
22	1月11日(日)	「権力と水運科研」滋賀研究集会「中世近江の湖上水運と権力」（科学研究費(基盤研究(B)）「戦国時代における地域権力と港町・水運の総合的研究」研究代表：仁木宏）	報告「転換期における湖上諸勢力の動向」 全体討論
23	1月15日(木)	滋賀リビング カルチャー 倶楽部「近江史跡紀行―その時代と背景―」（滋賀リビング新聞社）	「観音寺城と安土城 」
24	1月23日(金)	滋賀県博物館協議会情報交換会「どうする!?博物館の防虫・防黴・殺菌」（滋賀県博物館協議会）	報告「防虫・防黴対策のこれまでと今後」 総合討論
25	2月14日(土)	近江八幡ふるさと観光塾（近江八幡市観光ボランティア協会）	「佐々木氏と観音寺城」 「発掘進む安土城そして八幡山城につづく」

26	2月28日(土)	野路小野山製鉄遺跡を考えよう　製鉄ってなんだろう？（草津市教育委員会）	「製鉄と野路小野山製鉄遺跡に関するおはなし」
27	2月28日(土)	安土城築城450年記念事業　市民講座（あづち信長まつり協議会）	「特別史跡安土城の諸説を語りつくす」
28	3月 1日(日)	九州国立博物館特別展「平戸モノ語り」リレー講座「絵画から見る、平戸モノ語り」（九州国立博物館）	「片目をつぶる鉄砲隊―静山の写させた合戦図屏風―」
29	3月 5日(木)	滋賀リビング カルチャー 倶楽部「近江史跡紀行―その時代と背景―」（滋賀リビング新聞社）	「博物館の展示ができるまで」
30	3月 7日(土)	連続講座「栗太郡衙岡遺跡　古代栗太郡の生産遺跡と郡衙」（栗東市教育委員会）	「古代栗太郡の生産遺跡」
31	3月14日(土)	名城と左義長を巡る特別体験ツアー（安土城築城450年協議会）	同行解説
32	3月15日(日)	名城と左義長を巡る特別体験ツアー（安土城築城450年協議会）	同行解説
33	3月19日(木)	東近江市生涯学習講座ライフロング（公益財団法人 東近江市地域振興事業団）	「近江は“道の国”」

（3）資料貸出

	資料名		貸出先	出陳展覧会等	会期
1	観音寺城跡出土資料		東近江市近江商人博物館	常設展示	2025. 4. 1 ～ 2026. 3.31
	信楽焼 鬼桶	2点			
	天目茶碗	3点			
	青花碗	3点			
	白磁碗	1点			
	虫生遺跡出土資料				
	信楽焼 壺	1点			
	銅銭（皇宋通寶）	300点			
	銅銭（熙寧通寶）	200点			
	銅銭（元豊通寶）	300点			
	銅銭（元祐通寶）	200点			
2	滋賀里遺跡出土資料		大津市歴史博物館	常設展示	2025. 4. 1 ～ 2026. 3.31
	縄文土器	2点			
	磨製石斧	4点			
	石錘	3点			
	石錐	1点			
	磨製石鏃	2点			
	骨格製品	8点			
	石製品	10点			
3	重要文化財 大岩山出土銅鐸		野洲市歴史民俗博物館	常設展示	2025.5.1～ 2026.3.31
	袈裟襷文銅鐸（1号鐸）	1点			
	突線袈裟襷文銅鐸（3・5・6・8号鐸）	4点			
4	森浜遺跡出土資料		中江藤樹・たかしまミュージアム	常設展示	2025.6.1～ 2026.3.31
	土師器 鉢	2点			
	土師器 甕	2点			
	土師器 壺	2点			
	土師器 器台	1点			
	土師器 高坏	1点			

5	尾上浜遺跡出土資料　木簡 尾上遺跡出土資料　馬形代 赤野井湾遺跡出土資料　無文銀銭 尼子西遺跡出土資料　無文銀銭 矢倉口遺跡出土資料　木履 　　物差し 堂ノ上遺跡出土資料　文字瓦	1点 1点 1点 1点 1点 1点 3展	滋賀県埋蔵文化財センター	ロビー展示「近江　陸のみち・湖のみち」	2025.7.25～ 2026.7.3
6	絹本著色 織田信忠像	1幅	岐阜市歴史博物館	特別展「岐阜城と織田信長―発掘成果から考える岐阜城の姿―」	2025.8.8～ 2025.10.13
7	北大津遺跡出土資料 　須恵器 坏蓋 　須恵器 坏身 　須恵器 壺 北大津遺跡出土資料 　音義木簡（複製品）	 7点 7点 3点 1点	滋賀県埋蔵文化財センター	JR大津京駅構内展示	2025.9.30～ 2026.1.30
8	鴨稲荷山古墳出土資料 　金銅製冠（複製品） 　金銅製飾履（複製品）	 1点 1組	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	特別展「きらびやかに送る―国宝・藤ノ木古墳出土品修理事業成果展1」	2025.10.4～ 2025.11.30
9	森浜遺跡出土資料 　琴（複製品）	1点	中江藤樹・たかしまミュージアム	常設展示	2025.10.28 ～ 2026.3.31
10	観音寺城跡出土資料 　土師器 皿 安土城跡出土資料 　金箔瓦（複製品）	1点 1点	お城EXPO実行委員会	出張！お城EXPO in 滋賀・びわ湖2025	2025.11.7～ 2025.11.8

（４）画像提供、資料調査対応

①画像の提供　　36件

②資料調査対応　　6件

（５）資料の修理

重要文化財 長命寺文書（四千五百六十七通）のうち、穀屋文書14点、観心十界曼荼羅２鋪を国庫補助金で修理しました。

（６）刊行物

名　称	発行日	部　数	種　別
春季特別展『安土城・2025　信長の夢のあと』	令和７年　４月	1,300部	展示図録
第70回企画展『紫香楽と信楽　宮の造営と焼き物の歴史』	令和７年　７月	1,300部	展示図録
秋季特別展『天下人の城　安土城』	令和７年10月	1,300部	展示図録
第71回企画展『近江　道が織りなす物語』	令和８年　２月	3,000部	リーフレット
『令和６年度　年報』	令和８年　４月	500部	冊子
『紀要』第33号 田中勝弘・藤﨑髙志「古代集落と地域開発」	令和８年　３月	500部	冊子

北村圭弘「上坂氏権力形成とその背景」			
催し物案内 2025（下半期）	令和７年 ８月	12,000 部	リーフレット
催し物案内 2026（上半期）	令和８年 ３月	12,000 部	リーフレット
博物館だより『おおてみち』第 132 号	令和７年 ７月	2,400 部	リーフレット
博物館だより『おおてみち』第 133 号	令和 7 年 10 月	2,400 部	リーフレット
博物館だより『おおてみち』第 134 号	令和８年 １月	2,400 部	リーフレット
博物館だより『おおてみち』第 135 号	令和８年 ３月	2,400 部	リーフレット
博物館案内リーフレット（第 1 常設展示室シアター解説）	令和８年 ２月	10,000 部	リーフレット
博物館案内リーフレット（観音寺城）	令和８年 ２月	10,000 部	リーフレット
博物館案内リーフレット（安土城）	令和８年 ２月	10,000 部	リーフレット

滋賀県立安土城考古博物館　令和８年度事業計画（案）

１．基本方針

文化財の収集と保存管理を行う事業ならびに、「安土城と信長・戦国」を柱とする滋賀県の「歴史と文化」を展示・公開し、情報発信する事業を実施します。

併せて、安土城築城４５０年祭り、滋賀県戦国・豊臣キャンペーン等にも積極的に参画し、近隣施設等との連携のもと入館者数の確保と、地域に親しまれる博物館運営に努めます。

（１）安土城築城450年事業に即した事業展開と関係施設等との連携

・城郭をテーマとした特別展、企画展および特別陳列の開催
・安土城郭資料館・安土城天主信長の館・城ナビ館との連携
・安土城築城４５０年協議会との連携

（２）滋賀県戦国・豊臣観光キャンペーン等との連携

・滋賀県戦国・豊臣キャンペーンとの連携
・ＮＨＫ大河ドラマ「豊臣兄弟！」に関連する企画との連携
・滋賀県シガリズム・デスティネーションキャンペーンとの連携

（３）関連施設との連携と情報発信

・３県（滋賀・岐阜・福井）・３館（当館・岐阜県関ケ原古戦場記念館・福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館）の連携
・美の魅力発信５館ネットワークとの連携
・学校との連携と積極的な受け入れ
・観光業者へのＰＲ

（４）次期指定管理に向けての情報収集と人材育成

・県との情報交換、今後の人材育成の検討
・自主事業（旅行会社との連携、探訪トレイル等）に係る人材育成

２．具体的な取組

（１）展覧会事業

①春季特別展　安土城築城 450 年記念「安土山築城前夜―戦国乱世の城―」

展覧会期：令和８年４月２５日（土）～６月１４日（日）
会　　場：企画展示室
内　　容：安土城は近世城郭の出発点と評価されていますが、その前提として、各地の技術や資源を結集させた戦国時代の城が存在していました。

戦国時代の城は戦のみではなく、政治や文化の拠点としても機能していました。本展では、戦国時代の城を取り上げ、その特徴や共通点を紹介するとともに、安土城に及ぼした影響を考えます。

展示資料：勝瑞城跡・勝瑞館跡（徳島県）、一乗谷朝倉氏遺跡（福井県）、北畠氏館跡（三重県）、大桑城跡（岐阜県）、飯盛城跡（大阪府）、勝龍寺城跡（京都府）、観音寺城跡、小谷城跡などの出土資料

②第７２回企画展「秀吉の城」

展覧会期：令和８年７月１８日（土）～９月２３日（水・祝）

会　　場：企画展示室

内　　容：近江に築かれた城郭の中から、秀吉やその一門が関係した城郭について、出土資料、絵図、写真パネルなどで紹介します。

展示資料：小谷城跡、長浜城遺跡、佐和山城跡、安土城跡、八幡山城遺跡、水口岡山城跡、大津城遺跡、坂本城遺跡、大溝城遺跡などの出土資料

③秋季特別展　安土城築城４５０年記念「天下人の城下町　安土」

会　　期：令和８年１０月１０日（土）～１１月１５日（日）

会　　場：企画展示室

内　　容：令和８年は、織田信長が安土城を築城し、その城下町を作り上げてから 450 年の記念の年です。令和７年度は、近世城郭の先駆けとなった安土城を取り上げました。令和８年度は、信長がその麓に作り上げた城下町を考えます。信長はここに町を作るためにどのような政策を施したのか、町はどのような姿をしていたのかを、残された資料から考えます。

展示資料：織田信長画像、築城図屏風、安土山下町中掟書、江州蒲生郡豊浦村与須田村山論立会絵図、織田信長制札、織田信長朱印状などを予定

④第７３回企画展「古代国家と鉄―近江のくろがね―」

会　　期：令和９年２月１３日（土）～４月１１日（日）

会　　場：企画展示室

内　　容：近江は、交通の要衝であると同時に、大津宮、紫香楽宮、保良京など三つの宮都が造営されました。その背景には、近江の鉄生産があったと考えられます。本展では、弥生時代から平安時代前半頃までの県内出土の鉄製品から、近江の鉄が国家や地域社会にどのような影響をもたらしたのかについて考えます。

展示資料：熊野本遺跡、瓢箪山古墳、新開１・２号墳、鴨稲荷山古墳出土資料、県内各地の遺跡から出土した製鉄・鍛冶・鋳造関連遺物などを予定

関連行事：ギャラリートーク　　展示解説：大道和人（当館）

⑤特別陳列（望楼ホール、企画展示室で開催）

Ⅰ「秀吉の城　小谷城」

会期：令和８年４月７日（火）～４月２３日（木）

会場：望楼ホール

内容：小谷城跡出土の笏谷石製品を展示紹介します。

Ⅱ「豊臣の城１　長浜城と城下町」

会期：令和８年４月２５日（土）～７月１７日（金）

会場：望楼ホール

内容：長浜城遺跡出土の瓦、長浜町遺跡出土の陶磁器を展示紹介します。

Ⅲ「古墳時代の甲（よろい）と冑（かぶと）」

会期：令和８年７月１８日（土）～９月２３日（水・祝）

会場：望楼ホール

内容：新開１号墳出土の甲冑（原品は重要文化財）を展示紹介します。

Ⅳ「豊臣の城２　八幡山城」

会期：令和８年９月２５日（金）～１０月７日（水）

会場：望楼ホール

内容：八幡山城遺跡秀次館跡出土の金箔瓦、金箔飾り瓦を展示紹介します。

Ⅴ「豊臣の城３　坂本城と大津城」

会期：令和１０月１０日（土）～１２月２７日（日）

会場：望楼ホール

内容：坂本城遺跡出土の瓦、大津城遺跡出土の瓦などを展示紹介します。

Ⅵ「縄文・弥生・古墳時代の近江」

会期：令和８年１１月２８日（土）～令和９年１月３１日（日）

会場：企画展示室

内容：館蔵品を中心に、県内出土の縄文・弥生・古墳時代の資料を展示紹介します。展示資料は、これまで第１常設展示室で展示していた資料、模型や複製品を活用します。

Ⅶ「湖東焼　彦根藩が生んだ美」（予定）

会期：令和９年２月６日（土）～

会場：望楼ホール

内容：滋賀県立陶芸の森所蔵品を予定

※ 滋賀県立陶芸の森との連携企画

⑥でかける博物館 in 安土城考古博物館・でかける博物館 in 近つ飛鳥博物館

会期：未定

会場：望楼ホールもしくは企画展示室

内容：未定

※　大阪府立近つ飛鳥博物館との連携企画。当館は近つ飛鳥博物館で展示

⑦安土城跡発掘調査速報展

会期：令和８年４月１１日（土）～４月２４日（金）予定

会場：エントランスホール
内容：滋賀県文化スポーツ部文化財保護課が開催する安土城跡の発掘調査成果報告会（４月１１日（土）予定）に合わせて出土資料を展示紹介します。

⑧県内遺跡発掘調査速報展
会期：随時
会場：エントランスホール
内容：未定（当協会が実施した発掘調査の成果を展示紹介します。）

（２）講座事業
①春季特別展関連講座（全２回）
第１回　６月　６日（土）「六角氏と観音寺城」
講師：新谷和之氏（近畿大学）
第２回　６月１３日（土）「考古資料と歴史史料」
講師：佐藤圭氏
（元福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館）

②第７２回企画展関連講座（全２回）
第１回　８月２２日（土）「京極高次と大津城」（仮）
講師：五十嵐正也氏（大津市歴史博物館）
第２回　９月　５日（土）「秀吉・秀長兄弟と長浜」
講師：福井智英氏（長浜市長浜城歴史博物館）

③秋季特別展関連講座（全２回）予定
第１回　１０月３１日（土）「安土城下町」（仮）
講師：仁木宏氏（大阪公立大学教授）
第２回　未定　「安土城と織田信長」（仮）
講師：松下浩氏（滋賀県文化財保護課）予定

④企画展関連講座（全２回）予定
第１回　未定　「未定」
講師：真鍋成史氏（交野市教育委員会）予定
第２回　未定　「近江のくろがね」（仮）
講師：大道和人（当館）

⑤協会本部が実施する連続講座のサテライト会場
当館セミナールームを協会本部とオンラインで結ぶサテライト会場として、受講希望者のニーズに応えます。

（３）その他の催し物
①城郭トレイル

・城郭トレイル「観音寺城跡と桑實寺」①　　４月２９日（水・祝）
・城郭トレイル「観音寺城跡と桑實寺」②　　５月１０日（日）
・城郭トレイル「安土城跡」①　　５月１７日（日）
・城郭トレイル「安土城跡」②　　５月２４日（日）
・城郭トレイル「安土城跡」③　　１０月１２日（月・祝）予定
・城郭トレイル「安土城跡」④　　１１月　３日（火・祝）予定
・城郭トレイル「観音寺城跡と桑實寺」③　１１月１４日（土）　　予定

②体験博物館

・親子体験博物館「勾玉を作ろう」①　　８月　９日（日）
・親子体験博物館「勾玉を作ろう」②　１０月１０日（土）、１１日（日）
※ 当協会主催「あの遺跡は今！」と同時開催の予定

（４）その他の事業

①刊行事業

・学芸員の調査研究成果をまとめた『紀要』の刊行
・博物館の令和７年度事業をまとめた『年報』の刊行
・博物館だより「おおてみち」の刊行（年４回）
・「催し物案内」の刊行（年２回）

②広報・情報発信

・ＳＮＳによる情報発信
　フェイスブックやインスタグラムによる硬軟織り交ぜた情報の発信により、フォロワーの増加を目指します。
・美の魅力発信５館連携ネットワーク
　県立５館が連携して情報発信事業を企画、実施します。
・滋賀、岐阜、福井の三県が連携した企画を検討、実施
　岐阜県観光国際部観光資源活用課、岐阜関ケ原古戦場記念館と連携して広報・情報発信を強化します。
・お城 EXPO との連携
　あづちマリエート・文芸セミナリヨで開催予定のお城 EXPO との連携を予定しています。

③自主事業

・安土城探検（対象：小中高生）、城郭トレイル（対象：一般）、信長・戦国満喫ツアー（対象：旅行社）の実施
・夏休みイベント「まめのぶくんをさがせ！館内ミニクイズラリー！」の実施
・ デジタルアーカイブの整備・公開

・「触れる展示」の充実
・ 滋賀県立陶芸の森との連携
・シアターのイベントブース活用の検討
・コンベンションレンタルの検討
・ロケーションレンタルの検討・実施

④調査研究

・展覧会、講座等開催準備のための資料調査、情報収集など

⑤研修

・滋賀県博物館協議会など

博物館アンケート　秋の特別展　　『　天下人の城　安土城　』

全期間：10/11-11/16　　来館者数：5,643人　特別展：4,515人　　アンケート回収：503枚

1.入館者の状況

＜県内・県外別＞

	県内	県外	海外	無回答
人数	134	365	3	1
比率	27%	73%	1%	0%

＜都道府県別＞

順位	都道府県名	人数	比率
1	滋賀県	134	27%
2	愛知県	50	10%
3	大阪府	42	8%
4	兵庫県	29	6%
	岐阜県	29	6%
6	京都府	27	5%
7	東京都	24	5%
8	神奈川県	16	3%
9	奈良県	13	3%
	埼玉県	13	3%
	その他	124	25%
	無回答	2	0%
	合計	503	100%

〈地方別〉	人数	比率
北海道・東北	12	2%
関東	70	14%
中部	116	23%
近畿	258	51%
中国・四国	31	6%
九州・沖縄	11	2%
無回答	2	0%
海外	3	1%
合計	503	100%

2.年齢	人数	比率
小学生	16	3%
中学生	4	1%
高校生	1	0%
大学・専門学校生	11	2%
18～29才	11	2%
３０代	30	6%
４０代	69	14%
５０代	134	27%
６０代	130	26%
７０代以上	96	19%
無回答	1	0%
合計	503	100%

3.性別	人数	比率
男性	341	68%
女性	161	32%
無回答	1	0%
合計	503	100%

４.交通手段	人数	比率
ＪＲ	119	24%
乗用車	322	64%
レンタカー	30	6%
バイク	8	2%
徒歩・自転車	5	1%
バス	15	3%
無回答	4	1%
合計	503	100%

5.来館回数	人数	比率
初めて	332	66%
２～3回目	63	13%
毎年１回	20	4%
毎年２回以上	49	10%
何年かに1回	36	7%
無回答	3	1%
合計	503	100%

6.展示の満足度

	人数	比率
満足	363	72%
やや満足	122	24%
やや不満	6	1%
不満	1	0%
無回答	11	2%
合計	503	100%

満足度 96 %

7.お勧め度		人数	点数化
0	低い	2	0
1			0
2		2	4
3		6	18
4		4	16
5		27	135
6		20	120
7		60	420
8		130	1,040
9		49	441
10	高い	137	1,370
無回答		66	
合計		503	3,564

お勧め度
82 %

8.お勧めする理由<詳細 >

低い　→　高い

項目＼評価	-3	-2	-1	0	＋1	＋2	＋3	無回答	点数化	比率％
博物館の情報を収集する時	1	1	6	131	73	103	76	112	496	10%
交通アクセス	5	27	77	158	51	50	36	99	113	2%
待ち時間、施設の設備や快適性	1	1	4	115	64	114	103	101	592	12%
チケットを予約・購入する手間	1		6	158	47	98	82	111	480	10%
シアターの上映	1	2	7	61	70	107	160	95	750	15%
常設展示の内容	1	1	8	63	73	126	131	100	705	14%
企画展示の内容	1	2	5	40	55	136	168	96	819	16%
ミュージアムショップの印象	2	1	4	147	67	85	74	123	447	9%
スタッフとの会話	1	1	2	103	65	112	110	109	612	12%
合計	14	36	119	976	565	931	940	946	5,014	100%

7. 安土城考古博物館　経費および執行体制の推移

項目＼年度			管理委託			指定管理				
			1993(H5)	1999(H11)	2005(H17)	2006(H18)①	2011(H23)②	2016(H28)③	2021(R3)④	2024(R6)④
入館者数(人)			77,918	54,117	43,922	58,107	61,845	43,710	26,217	20,611
収入	入館料収入		—	—	—	17,609,700	19,666,930	14,742,460	9,656,740	7,204,040
	図録等収入		—	—	—	5,133,157	8,189,942	5,968,137	3,673,235	2,505,500
	県負担金(県利用施設の光熱水費)		—	—	—	—	2,819,079	1,469,380	1,342,796	1,582,356
	管理料		228,556,951	215,276,033	161,108,322	146,369,000	128,692,000	132,794,000	134,180,000	141,842,000
	合計		228,556,951	215,276,033	161,108,322	169,111,857	159,367,951	154,973,977	148,852,771	153,133,896
支出	管理運営費	人件費 **(A)**	68,623,614	85,416,533	73,135,463	71,242,415	75,386,783	85,551,412	80,897,445	82,018,455
		需用費(光熱水費等)	33,997,906	27,848,000	23,524,031	22,561,610	18,415,295	19,353,222	21,411,902	22,077,315
		その他	59,677,783	57,369,875	31,984,293	43,132,248	41,641,531	35,765,111	41,052,118	43,629,538
	活動事業費(学芸経費) **(B)**		64,932,106	44,641,625	32,464,535	30,830,628	24,445,709	14,283,941	12,956,734	6,480,411
	その他(自主事業)		1,116,485	178,716	11,823	—	—	—	—	—
	合計 **(C)**		228,347,894	215,454,749	161,120,145	167,766,901	159,889,318	154,953,686	156,318,199	154,205,719
人件費の割合(%) **(A/C)**			30%	40%	45%	42%	47%	55%	52%	53%
活動事業費(学芸経費)の割合(%) **(B/C)**			28%	21%	20%	18%	15%	9%	8%	4%
資料購入費(別途県負担)			20,000,000	8,000,000	6,000,000	6,000,000	0	0	0	0
執行体制	事務(人)		5	5	5	5	4	4	4	4
	学芸(人)		6	6	6	6	6	6	6	6

指定管理年度　〇数字は指定管理期数
R6はリニューアル工事のため3か月休館
資料購入費はH19で終了